

シー・エス  
**C・S みやいけ**

E-mail:info@miyaike-e.ed.jp



あいさつ運動

## 2学期も 子どもファースト!!

猛暑続きだった夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声に戻ってきました。休み中には、地域のあちらこちらで元気いっぱい、笑顔いっぱいの子どもの姿が見られました。地域の方からも、「地元のイベントに、子どもたちが参加してくれることが何よりうれしい」との声をいただいています。

子どもたちは、家庭と地域と学校のつながり、年齢や世代を超えたつながりの中で、地域に愛着を感じ、地域の将来を担う役割を自覚しつつ成長していきます。まさに、学校運営協議会(コミュニティー・スクール)がめざす「地域が教室!」、「地域の大人が先生!」、そんな思いを強くしています。

## 子どもファースト<その1> ~ PTAふれあいバザー in 宮池小 ~

9月7日(土)・8日(日)の2日間、半田図書館前通り商店街の皆さんによる「第8回ニツ坂カーニバル」が開催され、たくさんの人たちで賑わいました。

ここにも、運営スタッフとして活躍する子どもたちの姿がありました。

宮小の子どもたちは、学校を会場として開催された「第7回ふれあいバザー in 宮池小」のスタッフとして



にぎわう ふれあいバザー

活躍しました。PTAの皆さんから寄せられた衣類や学用品などのバザー用品や飲み物、食べ物などがみるみるうちに売れていきました。輪投げや射的などのお楽しみコーナーも大変な盛況でした。何日もかけて、PTAの皆さんと子どもたちとで準備をし、迎えた当日、各コーナーで「いらっしゃーい!」と大きな声を張り上げる姿、指を痛めながらも缶詰の蓋を懸命に開ける姿など、子どもたちの頑張る姿に感動しました。

成中の子どもたちも、メイン会場や歩行者天国周辺の会場スタッフとしての一翼を担って活躍していました。

手や口を出したくなる気持ちを抑え、そんな子どもたちの活躍を後方で支えつつ、そっと見守る保護者や応援団の皆さんの姿にも心を打たれました。

## 子どもファースト(その2) ～ 協和区敬老会 ～

9月15日(日)、協和公民館で「第64回協和区敬老会」が開催されました。今年も、160名を超える75歳以上の皆さんが参加され、楽しい一日になりました。

これまでの敬老会は、町内会長をはじめ白山神社役員、婦人会、消防団など協和区民の皆さんのご協力て運営されていますが、今年には成中生14名が加わってくれました。協和区では、これまで64回の歴史の中で初めてのことです。会の司会進行をはじめ、受付から高齢者のサポート、会場の片付けなど、開会から閉会まで様々な場での成中生の活躍に、会場の誰もがほのぼのとした気持ちを味わうことができました。



福引き大会を進行する成中生

生徒たちは、自分たちの住む地域のために、少しでも役に立ちたいとの思いで自ら進んで参加してくれました。また、成小、宮小、成中の3校の子どもたちから、お祝いの言葉や校歌などの心のこもったビデオレターも届けられました。出席者の中には、懐かしい校歌を口ずさむ様子も見られました。

ここでも、子どもたちの頑張る姿を、縁の下で支える地域の大人たちの姿がありました。心に残る敬老会でした。

## 子どもファースト(その3) ～ 2度の草刈り ( 8/21, 8/26 ) ～



校庭の除草作業

異常な暑さが続く中で、昨年度から「夏休み親子除草作業」がなくなりました。しかし、校庭の草は容赦なく伸びます。そこで出番となるのが宮池小応援団・PTA・教職員です。3者の協力で、2日間に渡る除草作業を行いました。さすがに膝丈ほどに生い茂った雑草をきれいに刈り取るのは骨の折れる作業でしたが、すっきり、さっぱりした校庭で、体育の授業や放課の時間などに伸び伸びと走り回る子どもたちの姿が目につかびます。子どもたちの生き生きとした笑顔が増えていくことが、コミュニティー・スクールの目指すところです。

## 今後の取組

1学期は、子どもを取り巻く大人同士のつながりを基に活動してきました。2学期は、子どもたちが活躍する姿を見せていただく機会が多くあります。そんな中で、子どもと大人をつなぐ意識した活動が進められたらと考えています。

例えば、「子どもたちは、学校や家庭や地域に何を望ん



後期児童会立会演説会

でいるのか？」そんなテーマで、児童会と学校運営協議会との懇談会のような機会を持ち、率直な話し合いができたらいいなと思います。日々の学校生活に対する不安や不満などを感じている子がいたら、近くにいる大人たちが温かく寄り添うことを心掛けることで、どの子も楽しく安心して学校生活を送れるようになると思います。不登校の問題をはじめ、個別の支援が必要な子に対してどう寄り添えばいいのか、様々な立場での連携を深めることが大切です。互いに学び合う機会を持てるよう計画していきたいと思います。

## 特集：コミュニティ・スクール(学校運営協議会を置く学校)導入への道のり！

コミュニティ・スクールに対する理解を深められるよう、これまでの歩みとこれからの展望について、このコーナーで紹介していきます。

### ＜第3号＞ キャリア教育とコミュニティ・スクール

半田市では、平成24年度から「世代を超えて人と人をつなぐ！ 学校・家庭・地域をつなぐ！」を合い言葉に、「キャリア教育」を推進しています。

キャリア教育とは、一度きりの大切な人生を自分らしくよりよく生きていくために必要な力(Action:主体的に課題解決に向かう力、Believe:自己理解・自己管理能力、Communication:人間関係形成・社会形成能力、Dream:キャリアプランニング能力)を育む生き方教育です。

そのキャリア教育の推進に不可欠なのが、地域で子どもを育てる仕組みであるコミュニティ・スクール(学校運営協議会)です。

学校運営協議会は、決して、お節介や出しゃばりではありません。子どもたちの豊かな学びのために少しでも役に立てたら・・・、保護者の皆さんや先生方の負担を少しでも軽減できたら・・・、そして、そうした取組が「地域とともにある学校」「学校とともにある地域」を実現し、地域住民の生きがいつくりや地域コミュニティの活性化に繋がっていく・・・、それが、コミュニティ・スクールの目指すところです。

学校と家庭と地域のパートナーシップを大切に、子どもたちの思いや保護者の思い、先生たちの思い、それぞれのニーズに応じられる**C・S宮小、宮小応援団**でありたいと思います。

＜次号へ続く＞

## 宮池小応援団募集中

子どもたちと楽しくふれあう仲間になってください。

決して無理せず、都合のよいときに、気軽に子どもたちの応援をする、それが宮池小応援団です。よろしくお願ひします。

＜問合せは宮池小学校へ（TEL 0569-22-8777、FAX 0569-24-9506）＞